

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート
(みらい創造プラン等審議会検証事業分)

No.	事業 番号	みらい創造プラン 実施計画事業名	担当課	担当課 評価	審議会評価	
					事業 評価	今後の 方針
1	1	空き家バンク登録相談事業	企画政策課	B	B	C
2	2	PR大使事業	企画政策課	C	D	C
3	10	出会い創出事業	企画政策課	B	B	A
4	26	あきた白神DMO事業	商工観光交流課	B	C	B
5	37	多面的機能支払交付金事業	農林課	A	A	A
6	55	農業人材育成事業	農林課	B	C	B
7	57	農業次世代人材投資事業	農林課	A	C	B
8	64	森林経営管理事業	農林課	B	B	A
9	73	資格取得支援事業	商工観光交流課	A	A	A
10	76	企業誘致推進事業	商工観光交流課	A	B	A
11	79	すこやか子育て支援事業	福祉課	A	A	A
12	95	三種型クアオルト推進事業	健康推進課	A	B	B
13	97	国保特定健診業務	健康推進課	A	B	B
14	116	後期高齢者健康診査事業	健康推進課	A	B	B
15	124	シルバー人材センター支援事業	福祉課	A	C	A
16	145	外国青年招致事業	教育委員会	A	A	B
17	170	芸術文化振興事業	教育委員会	A	A	A
18	179	自主防災組織の立ち上げ推進事業	町民生活課	A	A	A
19	182	WEBハザードマップ構築事業	町民生活課	A	A	B
20	217	町営住宅建築事業	建設課	B	A	A
21	218	住宅リフォーム助成事業	建設課	B	A	A
22	225	書かない窓口事業	町民生活課	B	B	A
23	230	受付業務体制の多様化対応	総務課	B	B	A

24	236	マイナンバーカード申請支援業務委託	町民生活課	B	A	B
25	256	指定管理者制度及び民間による施設管理の検討	総務課	B	B	C

【評価区分】

担当課評価	A	このまま継続
	B	改善して継続
	C	廃止または中止

審議会 評価	事業効果・ 評価	A	非常に効果的であった
		B	やや効果的であった
		C	相当程度の効果があった
		D	効果がほとんどなかった
		E	効果がなかった
	今後の 方針	A	さらに発展させるべき(拡大)
		B	効果があるので継続
		C	内容の見直しが必要(改善)
		D	効果が見えないので廃止

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	1	担当課名	企画政策課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	若者の定住促進と賑わいのあるまち	重点戦略	若者が定住し賑わう戦略	
主要施策	若者の定住とふるさと回帰促進	重点施策	若者の活躍と定住促進	
施策項目	定住・移住対策の推進	重点項目	定住・移住対策の推進	

2. 概要

名称	空き家バンク登録相談
Plan 目的	町内への定住者を増やすため、町内にある空き家を所有者の意志により登録、公開することで、借りたい人や買いたい人へ情報発信し有効活用する。
Plan 内容	令和3年度に秋田県宅地建物協会と協定を締結し、町ホームページへ登録空き家を掲載している。協力宅建業者の仲介により売買・賃借の調整を行っている。

3. 実績

Do 取組状況	固定資産税通知書へ空き家バンク登録のチラシを同封し、町ホームページ上に登録物件情報、募集情報、必要な手続き等について掲載。自治会長会議で制度内容を周知した。
Check・Action 成果・課題等	令和5年度:新規登録物件3件、再登録1件、合計4件。成約4件。 登録の相談が少ないが、相談された物件は空き家になってから年数経過していることが多く、登録に至らない場合が多い。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
空き家の成約件数	2件(R4)	4件		4件	B
※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力					

5. コスト

経費	0	円	うち一般財源	0	円
			うち特定財源		円

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	2	担当課名	企画政策課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	若者の定住促進と賑わいのあるまち	重点戦略	若者が定住し賑わう戦略	
主要施策	若者の定住とふるさと回帰促進	重点施策	若者の活躍と定住促進	
施策項目	定住・移住対策の推進	重点項目	定住・移住対策の推進	

2. 概要

名称	PR大使事業
Plan 目的	三種町に関する情報を全国に発信し、本町の知名度向上と観光産業の発展を図る。
Plan 内容	三種町出身または三種町にゆかりのある様々な分野で活躍している方を三種町PR大使として委嘱し、町のPRを図る。

3. 実績

Do 取組状況	東京みたね会の役員や町外在住の三種町出身者等22名を委嘱。名刺を渡して活動してもらっている。
Check・Action 成果・課題等	活動報告等を義務づけておらず、実際の活動内容が見えないため効果は不明。PRするためのターゲットを定め、効果的な手法により発信することと活動の可視化が課題

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

5. コスト

経費	12,100	円	うち一般財源	12,100	円
			うち特定財源		円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い	d	主にふるさと会会員にPR活動を依頼しているが効果が分かりにくい。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b: 効果がやや高い C: 相当程度の効果	d	現状のままではなく、デジタルを活用したPRについて検討が必要
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d: 効果がやや低い	d	名刺以外のPR手法について検討が必要
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e: 効果がない	e	PR大使の目的が果たされているか不明
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	C	廃止も含めたPR大使のありかたを検討する必要がある。

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・PR大使の名刺を大いに使ってもら方がいい。 ・活動が見えるようにするには、行政からのコミュニケーションが必要。 ・名刺を積極的に活用してもらいつつ、オンラインでの活動も進める方がよい。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input checked="" type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代で町のために何かやりたい人はいるので、PR大使を募集してオンラインでの活動を広めてはどうか。 ・PR大使での情報交換会を行い情報発信してもらうのも有効ではないか。

全体評価・コメント

他の自治体ではタクシードライバーが名刺を持っていて自治体のPRをしている例がある。情熱をもって町のPRしてくれる人たちを増やすのは、町のイメージアップにもつながる。出身者でなくても、町に関係する学生等にも活動を働きかけてみてはどうか。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	10	担当課名	企画政策課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	若者の定住促進と賑わいのあるまち	重点戦略	若者が定住し賑わう戦略	
主要施策	若者の定住とふるさと回帰促進	重点施策	若者の活躍と定住促進	
施策項目	結婚支援の充実	重点項目	結婚支援の充実	

2. 概要

名称	出会い創出事業
Plan 目的	結婚を望む独身男女が出会い、交流するきっかけとなる場を創出する。
Plan 内容	出会いの場を創出する団体、個人を対象に補助金を交付している。上限20万円。

3. 実績

Do 取組状況	1団体が出会いイベントを2回実施し、補助金を交付。2回のイベントで男性20名、女性22名が参加。
Check・Action 成果・課題等	R5年度実施した団体はR6年度の実施は不可。事業の活用について新規の団体・個人へのPRが必要

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
イベント開催数	0件(R4)	3件		1件	C
5年後の結婚支援事業活用成婚数(結婚祝い金除く)	2組	5組	2		-
※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力					

5. コスト

経費	200,000 円	うち一般財源	200,000 円
		うち特定財源	円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	b	さまざまな出会いの機会創出に有効である
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	c	事業活用団体の掘り起こしが必要
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	b	魅力的なイベント内容には参加者が多い
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	c	出会いのきっかけづくりには有効だが、補助金の活用団体（個人含む）が足りない。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	B	イベントにより出会いの機会創出につながっているが、1団体のみ活用だったため、複数の団体・個人から利用してもらうための事業PRが必要

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・出会いの機会創出にはこの補助金は有効だが、活用実績が少ないのは残念。 ・婚活をしていると思われたくないとの声がある。婚活を前面に出さずライトな感じの方がいいのでは。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・婚活イベントでは、集客が一番の課題。 ・若者の交流の機会を拡充し、楽しみながら参加してもらうため、関係人口と組み合わせた活用も有効ではないか。

全体評価・コメント

高校生の就活によるアンケート結果で、アフター5(仕事以外での楽しみ)の充実が求められている。地元での楽しみ方は多い方がよい。若者の定住対策として県も考えているため、一緒にできることがあればよい。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	26	担当課名	商工観光交流課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	若者の定住促進と賑わいのあるまち	重点戦略	若者が定住し賑わう戦略	
主要施策	観光資源の充実と交流人口の拡大	重点施策	交流人口拡大と賑わいの創出	
施策項目	広域連携の推進	重点項目	広域連携の推進	

2. 概要

名称	あきた白神DMO事業
Plan 目的	能代山本郡内の人口減少による地域経済活動の縮小を補うため、インバウンドを軸とした交流人口の増加により域内の消費拡大を図り、地域経済を活性化させる。地域にある自然、文化的資源を最大限活用する。
Plan 内容	能代山本1市3町では、令和元年度にDMO法人「あきた白神ツーリズム」が発足し、地域一体となってインバウンド誘客をはじめとした観光地域づくり戦略を構築し、戦略に基づいた情報発信・プロモーション等を行う。

3. 実績

Do 取組状況	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により入国規制・制限がなされていたが、令和5年10月より解除された。この解除に向け、変化する情勢に迅速・柔軟に対応できる準備を進め、受入環境等の課題整理・解決に向け、エリア一体での観光誘客マネジメントを行って来た。また、世界自然遺産「白神山」を自然の最大コンテンツと捉えており、SDGs／サステナブルについても地域一体となって取り組んできた。
Check・Action 成果・課題等	令和5年10月に入国規制・制限が解除されたため、インバウンド誘客に向け活動を活発化させ、実績を残すことが重要となる。特に令和4年度で地方創生推進交付金が終了したため、自立運営できるかが課題となっている。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
ツアー・プログラム延べ参加人数	25人(R4)	200人		153人	C
延べ訪日外国人含む宿泊者数	177,527人(R4) うち三種町 22,326人	199,000人 うち三種町 20,000人		187,874人 うち三種町 18,649人	C
訪日外国人宿泊者数	772人(R4) うち三種町 0人	1,900人 うち三種町 50人		586人 うち三種町 47人	C
※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力					

5. コスト

経費	6,408,727 円	うち一般財源	6,408,727 円
		うち特定財源	0 円

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い	C	インバウンドを軸とした活動をしているが、インバウンド誘客に繋がるような活動と実績を残していないため、相当程度の効果と判断した。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b: 効果がやや高い C: 相当程度の効果	C	インバウンドを軸とした活動をしているが、インバウンド誘客に繋がるような活動と実績を残していない。しかし、今後、活動を改善する予定であることから、相当程度の効果と判断した。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d: 効果がやや低い	C	インバウンドを軸とした活動をしているが、インバウンド誘客に繋がるような活動と実績を残していないため、費用対効果は相当程度と判断した。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e: 効果がない	C	インバウンドを軸とした活動をしているが、インバウンド誘客に繋がるような活動と実績を残していない。しかし、今後、活動を改善する予定であることから、相当程度の効果と判断した。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	B	インバウンドを軸とした活動をしているが、インバウンド誘客に繋がるような活動と実績を残していない。しかし、今後、活動を改善する予定であることから、新たな計画に基づいた活動が実施されることにより、経済や交流人口への波及効果が大きいと推測される。また、インバウンド活動だけではなく、国内活動を同時に行っていくなどの改善が必要だと思われる。

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	目標値には達していないが事業展開されているため、一定の効果はあった。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input checked="" type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	外国人の宿泊利用も増えており、効果が期待できるため継続してもらいたい。

全体評価・コメント

コロナ明けで、白神山地など自然を求めて訪れる観光客も多いと思うので、アンケートをとるとか、何かフィードバック出来るような仕組みをとりたいなどリピーターを増やす取り組みを期待する。
既存の観光協会・観光連盟と連携してインバウンドの受入など内容を改善しながら積極的に取り組んでほしい。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	37	担当課名	農林課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	地元で安心して働ける雇用を創るまち	重点戦略	稼げる産業をつくる戦略	
主要施策	農林水産業の振興	重点施策	農業生産基盤の安定化と所得向上	
施策項目	農業の基盤整備	重点項目	農業の基盤整備	

2. 概要

名称	多面的機能支払交付金事業
Plan 目的	農村地域における過疎化、高齢化等の進行に伴い、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理に対する担い手の負担が増している。この交付金は、地域資源の保全管理を地域住民による共同活動に対し支援し、農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図ることを目的としている。
Plan 内容	農地維持支払交付金：地域資源の基礎的な保全活動（草刈、泥上げ、農道の路面維持など） 資源向上支払交付金：地域資源の質的向上を図る共同活動（施設の軽微な補修、農村環境保全活動など）、施設の長寿命化のための活動（老朽化が進む施設の更新など）

3. 実績

Do 取組状況	令和5年度活動状況 農地維持支払交付金 45活動組織(田:3258ha、畑:70ha) 資源向上支払交付金(共同) 34活動組織(田:2714ha、畑:33ha)
Check・Action 成果・課題等	地域資源の保全管理、地域コミュニティの強化が図られている。 活動組織の構成員の高齢化に伴い、今後の単独組織での運営が厳しくなっており、広域的な組織作りが必要となっている。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
5年後の日本型直接支払実施面積(多面的機能)	3320	現状維持	3328		-

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

5. コスト

経費	148,888,156	円	うち一般財源	37,102,263	円
			うち特定財源	111,785,893	円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い b: 効果がやや高い C: 相当程度の効果 d: 効果がやや低い e: 効果がない	a	交付金を活用することで、農業者の負担無く地域資源の保全管理を実施し現状維持している。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか		c	単独組織での運営が厳しくなっており、広域的な組織作りが必要となっている。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか		a	同様の事業は他になく、交付金を活用することで、農業者の負担無く地域資源の保全管理を実施してきている。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか		b	地域資源の保全管理、地域コミュニティの強化など、創意工夫により向上させていくことが可能な事業である。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか		A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	A

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	集落内での農家数が減少している中、地域資源の保全管理のためには非常に効果がある。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	草刈りへの支援として、機械化導入補助も新たに始めたようなので、さらに拡大させてほしい。

全体評価・コメント

この事業は非農家の協力等も得られており、なくしてしまつては農地が荒れてしまうため、今回の機械化導入支援の様に、機械化を推進しながらさらに拡大させてほしい。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	55	担当課名	農林課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	地元で安心して働ける雇用を創るまち	重点戦略	稼げる産業をつくる戦略	
主要施策	農林水産業の振興	重点施策	農業生産基盤の安定化と所得向上	
施策項目	担い手の確保・育成	重点項目	担い手の確保・育成	

2. 概要

名称	農業人材育成事業
Plan 目的	町の農業の中核となる農業者を先進農業地等で研修させることにより、担い手の確保・育成をはかる。
Plan 内容	研修にかかる経費の一部を助成する。 【宿泊(8,000円以内)・交通費の1/2(東北外1/3)を助成(町2/3、JA1/3負担)】

3. 実績

Do 取組状況	研修事業が再開し始め、研修補助について広報し、人材育成研修が実施された。
Check・Action 成果・課題等	研修について再周知して、研修を促し育成する。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
事業の申請数	7	15	7	0	C
※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力					

5. コスト

経費	370,676	円	うち一般財源	370,676	円
			うち特定財源		円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い	c	農家からの要望は多いが、研修者の顔ぶれが固定化されてきている。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b: 効果がやや高い C: 相当程度の効果	b	担い手の確保育成が図られている。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d: 効果がやや低い	b	効果的に利用されている。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e: 効果がない	b	先進地研修により技術の向上等がはかれる。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	B	新たな担い手の確保に向け改善することが望ましい。

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	申請者が研修目的を考え、それについての補助であり、一定の効果はある。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input checked="" type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	宿泊費が高騰しているため、8,000円以内は低すぎではないか。宿泊費の見直し必要

全体評価・コメント

先進地で研修を受けることは、担い手確保・育成に効果があると思うので、研修に係る経費について(特に宿泊費)、現状を考慮し増額等の見直しが必要ではないか。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	57	担当課名	農林課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	地元で安心して働ける雇用を創るまち	重点戦略	稼げる産業をつくる戦略	
主要施策	農林水産業の振興	重点施策	農業生産基盤の安定化と所得向上	
施策項目	担い手の確保・育成	重点項目	担い手の確保・育成	

2. 概要

名称	農業次世代人材投資事業
Plan 目的	国の新規就農促進対策として、50歳未満の新規就農者で農業経営者となることに強い意欲を持っている者に対して一定の要件を満たす独立・自営就農者に対して資金を交付する。夫婦での経営の場合は個人の1.5倍の額を交付。
Plan 内容	年間150万(夫婦型は225万)の資金を最長5年間交付(前年所得・家族所得によっては減額となる)

3. 実績

Do 取組状況	令和5年実績 0名 25,460円 (受給期間終了後の確認作業の費用)
Check・Action 成果・課題等	国の見直しにより、令和4年度からは事業見直し。最長5年間の交付となるため、前年度以前の対象者は引き続き同内容での支給となる。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
5年後までの新規就農者数	2	5	2		C
※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力					

5. コスト

経費	25,460	円	うち一般財源	25,460	円
			うち特定財源		円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目		評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性	・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	C	新規就農への関心は全国的にみても高い。
	将来性	・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	C	人口減少に伴い、若手農業者の確保は必要。
	効率性	・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	C	新規就農者への給付金は国費により交付される。
	有効性	・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	C	新規就農者への定着には一定期間の給付金は必要。
	総合評価	・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A	国の制度見直しにより新規採択はない。現在の受給者については引き続き支援

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	5年間の支援を受けた方が、現在就農されている実績があるため効果がある。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input checked="" type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	新たな就農者の応援のためにも継続してもらいたい

全体評価・コメント

国の制度の見直しで、5年後就農しなければ返還義務もあるようだが、新たに就農したい人を引き続き支援していく必要があるため、継続を希望する。1年間他の補助事業でお試してから本事業が活用されるとより効果的、継続的な支援になるのではないかと。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	64	担当課名	農林課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	地元で安心して働ける雇用を創るまち	重点戦略		
主要施策	農林水産業の振興	重点施策		
施策項目	森林資源の管理	重点項目		

2. 概要

名称	森林経営管理事業
Plan 目的	森林経営管理制度に基づき、森林環境譲与税を活用した山林の適正管理を促進する。
Plan 内容	令和元年度に実施した森林経営に関する意向アンケートの結果に基づき、町への経営管理の委託を希望する山林のうち、ある程度まとまった面積の山林を抽出し、経済林/非経済林の判定材料となる評価分類票と現地調査を委託。伐採後の山林の適切な維持管理を促進するため、秋田県の再造林定着促進事業費補助金の交付決定を受けた三種町内の山林に対する嵩上げ補助金の交付を実施する。

3. 実績

Do 取組状況	①評価分類票と現地調査業務委託・・・今年度は上岩川地区、下岩川地区、豊岡地区、森岳地区の山林について委託業務を発注。 ②再造林等促進補助事業・・・対象事業の人工造林、下刈、除伐に対して補助金を交付。
Check・Action 成果・課題等	①今年度は、61筆(約75.91ha)の山林を対象として令和6年3月19日に業務完了。 ②今年度は、下刈及び再造林の事業に対し、3,618千円の補助金を交付。 ①については調査区域の抽出に時間がかかっている。また、この後に発生する集積計画の策定と合意形成については未着手となっている。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
評価分類・現地調査	192ha	122ha	192ha		A

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

5. コスト

経費	17,520,771 円	うち一般財源	円
		うち特定財源	17,520,771 円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い b: 効果がやや高い c: 相当程度の効果 d: 効果がやや低い e: 効果がない	a	森林経営管理制度の趣旨に基づき、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立に資する事業である。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか		a	適切に管理されていない山林が多数存在するため、将来にわたって事業を継続することが必要。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか		c	非経済林は森林環境譲与税を活用するため負担なく事業を実施できるが、経済林を林業経営者に託す仕組みの構築が課題となっている。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか		c	ある程度まとまった山林の現地調査を実施し、評価分類票を作成することができた。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか		A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	B

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	山の境界をはっきりさせ適正管理を進めていく必要があるため効果的の事業である
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	専門的人材を確保し、事業を拡大してほしい。

全体評価・コメント

自身の山林の場所を把握できていない人が多いと思う。ある程度まとまった面積の山林が対象だと思うが、専門人材を確保することで、さらに山林適正化に向けた事業効果が期待できるため、人材の確保に努めてほしい。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	73	担当課名	商工観光交流課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	地元で安心して働ける雇用を創るまち	重点戦略	稼げる産業をつくる戦略	
主要施策	商工業の振興	重点施策	雇用の促進と起業・創業の支援	
施策項目	雇用促進・起業・事業承継の支援	重点項目	雇用の促進・起業・事業承継の支援	

2. 概要

名称	資格取得支援事業
Plan 目的	仕事や就職に役立つ資格または免許の取得に要する経費を補助し、就労者の能力向上、求職者や学生の就業機会の拡大を図ることを目的とする。
Plan 内容	町内に住所を有する65歳未満の方(求職者、就労者、学生)が資格取得に要する経費を支払った場合、または町内に本社、本店もしくは支店を有している事業所が従業員の資格取得にかかる費用を負担した場合、補助対象経費の2分の1を支給する。

3. 実績

Do 取組状況	町広報、ホームページ等で事業内容を周知し、要綱に基づき対象事業者へ補助金を交付した。
Check・Action 成果・課題等	就労者の資格取得に要する経費を補助することにより、能力向上を推進、地元企業への定着や雇用の継続、また求職者や学生の就業機会の拡大が図られた。 主な資格取得:大型自動車免許12件、大型特殊自動車免許12件、車両系建設機械運転技能講習9件、フォークリフト運転技能講習4件など

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
申請件数	47件(R4)	60件(R5)		57件	B
資格取得者数	59人(R4)	60人(R5)		69人	A
交付額	2,489千円(R4)	4,000千円(R5)		3,415千円	C
※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力					

5. コスト

経費	3,415,000	円	うち一般財源		円
			うち特定財源	3,415,000	円

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	76	担当課名	商工観光交流課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	地元で安心して働ける雇用を創るまち	重点戦略	稼げる産業をつくる戦略	
主要施策	商工業の振興	重点施策	雇用の促進と起業・創業の支援	
施策項目	雇用促進・起業・事業承継の支援	重点項目	企業誘致の促進	

2. 概要

名称	企業誘致推進事業
Plan 目的	地域経済の活性化と雇用の安定的な確保を図るため、継続的に企業誘致活動を行っていく。
Plan 内容	リッチセミナー、首都圏企業懇談会、能代山本関東圏企業懇談会への参加による企業誘致活動や新規進出企業へ補助金、融資、奨励金等優遇措置の支援を行う。

3. 実績

Do 取組状況	リッチセミナー、首都圏企業懇談会、能代山本関東圏企業懇談会への参加による企業誘致活動を行なった。
Check・Action 成果・課題等	町単独での誘致は難しいため、県企業誘致推進協議会に参加し、各種事業を展開していく。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
企業誘致件数	実績なし	R7までに1件		実績なし	D
※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力					

5. コスト

経費	531,303	円	うち一般財源	531,303	円
			うち特定財源		円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い	b	地域経済の活性化と雇用の安定的な確保を図るため、継続的に企業誘致活動を行っていく。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b: 効果がやや高い C: 相当程度の効果	a	地域経済の活性化と雇用の安定的な確保が図られる。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d: 効果がやや低い	a	企業誘致による地域経済効果は高く、雇用の創出の拡大など費用対効果が高い。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e: 効果がない	c	町単独での誘致は難しいため、県企業誘致推進協議会に参加し、各種事業を展開していく。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	A	継続して誘致活動を行う。

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	実績はないが、企業とのつながりが保たれており、今後期待したい。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	企業誘致が達成されることで、雇用の拡大・若者の定着につながると思うので、誘致活動等の内容を見直ししてはどうか。

全体評価・コメント

既存のやり方では効果がなかなか見えないので、違うアプローチの仕方があるのではないかと。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	79	担当課名	福祉課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	誰もが健やかでいきいきと暮らせるまち	重点戦略	みたねの子ども育成戦略	
主要施策	子育て環境の充実	重点施策	安心して子育てできる環境の整備	
施策項目	安心して出産・子育てできる環境づくり	重点項目	安心して出産・子育てのできる環境づくり	

2. 概要

名称	すこやか子育て支援事業
Plan 目的	子育てに係る経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備する。
Plan 内容	秋田県との共同事業として保育料・副食費の助成を行っており、町独自に上乗せして助成を行っている。 保育料: 第1子は所得に応じて1/2または1/4助成、第2子以降は所得制限なしで全額助成 副食費: 月額4,700円まで助成

3. 実績

Do 取組状況	対象者に対して保育料及び副食費の助成を行った。
Check・Action 成果・課題等	子育て世帯の経済的負担を軽減できた。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
-	-	-	-	-	-

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

5. コスト

経費	26,803,465	円	うち一般財源	14,870,428	円
			うち特定財源	11,933,037	円

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	95	担当課名	健康推進課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	誰もが健やかでいきいきと暮らせるまち	重点戦略		
主要施策	健康寿命の延伸	重点施策		
施策項目	健康づくりの推進	重点項目		

2. 概要

名称	三種型クアオルト推進事業
Plan 目的	健康の3要素(運動・休養・栄養)を一貫して体験できる三種型クアオルトを推進し、町民の健康づくりに寄与していく。
Plan 内容	町民が自主的かつ継続的に健康運動に取り組んでもらえるよう、クアオルト健康ウォーキングをはじめ、各種健康運動教室を開催する。また、クアオルトポイント制度により、インセンティブによる実践者の確保を図る。健康食に関しても、クアオルト弁当の販売を促進する。

3. 実績

Do 取組状況	日本クアオルト協議会に加盟し、加盟自治体の事例を研究しながら全国的なクアオルト事業の普及の取り組みを進めている。 町内においては、各種ウォーキングイベントや体験行事を実施している。また、町民の運動行為に対して付与している、クアオルトポイント制度による温泉地活性化と住民の健康づくりを促している。
Check・Action 成果・課題等	新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限がなくなり、徐々に事業参加者数も回復傾向にある。若い年代や、普段運動しない町民が運動をするきっかけとして参加しやすい事業展開を実施することが課題となっている。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
5年後のウォーキング以外の健康運動実践者数(延)	1,088人	2,900人	1,188人		C
5年後の共通利用券利用枚数(単年)	1,057枚	1,300枚	1,228枚		C

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

5. コスト

経費	4,993,228	円	うち一般財源	4,466,149	円
			うち特定財源	527,079	円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い	a	継続的に参加している町民が多数いる。さらに、運動習慣のない町民が運動するきっかけとなるような事業展開を行いたい。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b: 効果がやや高い C: 相当程度の効果	a	運動習慣を身に着けることにより、生活習慣病の予防や医療費の抑制、介護費の抑制につながる。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d: 効果がやや低い	c	あきた未来づくり交付金事業終了後、予算の圧縮につとめている。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e: 効果がない	b	健康運動と温泉施設利用促進を含め、ポイント制度など啓発活動を継続することが望ましい。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	A	自主的かつ継続的に健康運動に取り組む町民を増やすことにより、健康寿命の延伸や医療費削減に寄与していくものとする。

*****: ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	継続して参加している町民も多いということで、町民の健康増進に繋がっている。 秋田犬とのウォーキングは魅力的だと思う。県外へのアピールをしてほしい。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input checked="" type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	KPIの実績値の見直しが必要。 実績値が正しいようであれば、目標達成が難しいため、事業内容の見直しが必要ではないか。

全体評価・コメント

・農林部門と連携し、三種町の種類豊富な農作物を活かしたクアオルト弁当を作るなど、視野を広げることで活用できる予算も増え、三種町らしさも出すことができるのではないかと。
 ・KPIを達成する上で、先進地の事例から保険会社との協定を結びクアオルトを実施するなど町外からの参加者を呼び込む必要がある。ヘルスツーリズムを活用してインバウンドの呼び込みもできるのでは。町民については、クアオルトポイントをマイナンバーカードと連携させ地域通貨として利用できるなど、メリットを感じてもらえるような取組をすることで普及に繋がるのではないかと。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	97	担当課名	健康推進課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	誰もが健やかでいきいきと暮らせるまち	重点戦略		
主要施策	健康寿命の延伸	重点施策		
施策項目	疾病予防の推進	重点項目		

2. 概要

名称	国保特定健診事業
Plan 目的	40～74歳の国保加入者について、心臓病や脳卒中などの生活習慣病の前兆となるメタボリック症候群に着目した健診の受診による病気の早期発見・早期治療による重症化予防及び医療費削減のため
Plan 内容	基本項目(身体検査、診察、血圧、血液検査、尿検査、腎機能検査) 医師の判断による詳細項目(心電図、貧血、眼底) について、検査にかかる一部負担金を無料で実施している

3. 実績

Do 取組状況	対象者へ受診券を発行し、契約医療機関による受診を促す。 未受診者には健診受診の重要性やメリット等を記載した勧奨通知を発送し受診を促す。
Check・Action 成果・課題等	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、受診率は昨年度より高くなったが目標値には至っていない。特定健診未受診者へ向けた勧奨が課題となっている。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
5年後の国保特定健診受診率	39%	50%	44.9%		C
※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力					

5. コスト

経費	12,512,213	円	うち一般財源	円
			うち特定財源	12,512,213 円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い b: 効果がやや高い C: 相当程度の効果 d: 効果がやや低い e: 効果がない	b	健診料金を無料にすることで、受診しやすい環境を整えている。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか		a	年1回の特定健診受診による健康管理が健康寿命の延伸につながり、重症化予防による医療費の削減となる。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか		a	受診券を発行することで、一部負担金を償還払いでなく、窓口で無料としており受診後の手続きが不要で効率的である。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか		a	集団健診・個別健診いずれかで受診できるよう対象者すべてに受診券を送付しておりいつでも受診が可能。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか		A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	A

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	健診料金が無料なため、受診しているという意見があり、国保加入者にとって効果的であった。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input checked="" type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	継続して実施してほしいが、未受診者への受診勧奨方法は検討が必要。

全体評価・コメント

・受診率を上げるためには、受診者へのインセンティブ(クアオルト無料体験券や町内温泉施設の入浴券、ポイント付与など)が必要なのではないか。
 ・マイナンバーカードと連携し、特定の人へ通知するなど通知方法を検討してはどうか。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	116	担当課名	健康推進課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	誰もが健やかでいきいきと暮らせるまち	重点戦略		
主要施策	健康寿命の延伸	重点施策		
施策項目	疾病予防の推進	重点項目		

2. 概要

名称	後期高齢者健康診査事業
Plan 目的	糖尿病・高血圧症・脂質異常症などの生活習慣病の早期発見や重症化予防及び肺炎などの疾病予防のため
Plan 内容	集団健診または個別健診にて実施 基本項目：身体検査、診察、血圧、血液、尿、腎機能 詳細項目：心電図、貧血、眼底（医師の判断により実施）

3. 実績

Do 取組状況	受診券を対象者へ配布し、パンフレット及び広報により受診勧奨を行った。町が行う集団健診を活用し、また被保険者の利便性を考慮し「かかりつけ医」での個別受診により、健診後期高齢者健診を実施した。
Check・Action 成果・課題等	受診券をすべての被保険者へ郵送することにより、受診を促した。更なる周知活動により受診率を伸ばしたい。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
後期高齢者健診受診率		23.39%	22.87%		C
※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力					

5. コスト

経費	6,601,398 円	うち一般財源	円
		うち特定財源	6,601,398 円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い	a	健康診査は住民のニーズも高く、その必要性も高い。健康寿命の延伸という目的・対象ともに妥当である。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b: 効果がやや高い C: 相当程度の効果	a	健康寿命延伸は永遠の課題であり、将来性がある。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d: 効果がやや低い	a	全額補助事業であり、追加健診や事務費の町の持ち出し分についても契約等の見直しにより抑制できている。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e: 効果がない	a	「健康は自身の体を知ることから」であり、後期高齢者健診は、その目的実現のため大いに効果的である。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	A	国の事業を活用し県補助金により実施している。継続は必須である。

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	受診者の健康寿命の延伸に繋がったため、効果的であった。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input checked="" type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	受診者が自身の体を知ることができるため、効果的であり継続してほしい。

全体評価・コメント

・三種町において、受診率が低い課題を把握し、アプローチの仕方を検討してほしい。
 ・チラシにキャッチーなフレーズを載せるなど、注目するような内容とすることも受診率増加に繋がるのでは。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	124	担当課名	福祉課
計画種別	未来創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	誰もが健やかでいきいきと暮らせるまち	重点戦略		
主要施策	社会福祉の充実	重点施策		
施策項目	地域福祉の推進	重点項目		

2. 概要

名称	シルバー人材センター支援事業
Plan 目的	経営移譲や定年退職など第一線を退いた高齢者の持っている技能・経験を活用し、高齢者の生きがいと健康促進を図り、福祉の向上と活力ある地域づくりに寄与するため、関係団体への財政支援を行う
Plan 内容	三種町シルバー人材センターへの財政支援

3. 実績

Do 取組状況	三種町シルバー人材センターへの財政支援をすることで、法人化1年目となる当該団体の活動を支援した。
Check・Action 成果・課題等	法人化したことにより、以前より事務量が増加し、職員を増やさざるを得ない状況となり、人件費が増加している。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
—	—	—	—	—	—

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

5. コスト

経費	3,500,000 円	うち一般財源	3,500,000 円
		うち特定財源	0 円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い	C	高齢者が生涯にわたって社会的活動に参加する機会を確保する事業であり、住民ニーズが高く、町の関与・目的等も妥当。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b: 効果がやや高い C: 相当程度の効果	C	将来的に安定した経営基盤となるための取り組みをしている最中であり、当面は見守りが必要。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d: 効果がやや低い	C	法人化することにより、かかり増しになる経費もあり、費用対効果はやや低いが、コスト削減に努めており、やむを得ない支出となっている。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e: 効果がない	C	当事業により、法人化となることでシルバー人材センターの体制が強化され、今後の主体的な運営が期待できる。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	A	今後の安定した体制作りのために、法人側も試行錯誤しており、当面はこのまま継続する必要がある。

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	除排雪事業等を行うことで、高齢者の社会的活動に参加する機会を確保することができた。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	現状では依頼できる仕事が周知されていないように感じる。業務を可視化し、周知することで利用者増加に繋がると考えるため、更に事業を拡大してほしい。

全体評価・コメント

・若い人にも家事援助、蜂の巣駆除など求められていると思うが、1人暮らしのお年寄りが利用するイメージがある。シルバー人材センターにどのようなことを頼むことができるのか可視化(顔写真付で登録者が対応する業務を記載するなど)したら利用者増加に繋がるのではないかと。
 ・組織として、評価するため登録者数や業務数などのKPI設定を検討してほしい。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	145	担当課名	教育委員会
計画種別	<div style="border: 1px solid green; display: inline-block; padding: 2px;">みらい創造プラン</div> ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	誰もが生涯にわたり学び心豊かに暮らすまち	重点戦略	みたねの子ども育成戦略	
主要施策	教育環境等の充実	重点施策	子どもの育みを支える環境づくり	
施策項目	教育環境の充実	重点項目	教育環境の充実	

2. 概要

名称	外国青年招致事業
Plan 目的	外国語教育の支援及び国際理解教育のため、英語を母国語とする外国語指導助手(ALT)3名を配置し、教育環境の充実を図る。
Plan 内容	教職員、外国語活動支援員と連携を取り合い、英語学習の準備や授業実践を行う。また、英語教育を通し、国際理解教育の充実を図る。

3. 実績

Do 取組状況	【小・中学校8校担当】 3名配置 →主に中学校を担当し、各小学校をローテーションで週1回、担当中学校を週4回程度訪問し、外国語教育支援を実施
Check・Action 成果・課題等	各学校における外国語教育支援により、教育環境の向上に努めることができた。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
ALTの配置(小学校)	6校	5校	5校		B
ALTの配置(中学校)	3校	3校	3校		B
※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力					

5. コスト

経費	11,696,156 円	うち一般財源	11,696,156 円
		うち特定財源	円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い b:効果がやや高い c:相当程度の効果 d:効果がやや低い e:効果がない	a	子どもたちの教育環境の充実につながった。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか		a	外国語教育及び国際教育は今後の社会生活において重要であり、将来性はある。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか		b	外国語教育の充実が実現されるため費用対効果は大きい。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか		a	子どもたちの教育環境の充実が期待される。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか		A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A

:***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	英語でコミュニケーションを取れることは子どもたちにとってプラスである。子ども達への英語教育から見た費用対効果から考えると非常に効果的であった。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input checked="" type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	現状のまま継続して実施してほしい。

全体評価・コメント

・ALTと英語でコミュニケーションを取れることは、子どもたちへの英語教育から見た費用対効果から効果的であり、継続して実施してほしい。
 ・小学校に短期の留学生が来た際には、留学生とALTの英会話を子どもたちに見てもらうなどの体験をさせてほしい。
 ・児童生徒に限らず、住民がALTから外国語を習う機会があってもよいのではないかな。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	170	担当課名	教育委員会
計画種別	<div style="border: 1px solid green; display: inline-block; padding: 2px;">みらい創造プラン</div> ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	誰もが生涯にわたり学び心豊かに暮らすまち	重点戦略		
主要施策	芸術文化活動の推進と郷土芸能の継承	重点施策		
施策項目	芸術文化活動の推進	重点項目		

2. 概要

名称	芸術文化活動振興事業
Plan 目的	芸術文化活動を支援する。
Plan 内容	伝統文化の保護。

3. 実績

Do 取組状況	芸術文化協会、じゅんさい音頭推進協議会、北涯俳句大会等への補助。
Check・Action 成果・課題等	芸術文化祭はR2年度は展示部門のみ。R3年度はコロナ対策を実施したうえで、舞台部門も実施した。R3年度展示部門、舞台部門共に14団体の参加。R4年度は、出展作品数238点。舞台出演団体数14団体。R5年度は、出展作品数264点。舞台部門は、降雨災害により中止。来場者数は2日間で160人であった。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
芸術文化団体加盟団体数	38	40		38	C

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

5. コスト

経費	1,044,000 円	うち一般財源	1,044,000 円
		うち特定財源	0 円

令和5年度三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	179	担当課名	町民生活課
計画種別	未来創造プラン 国土強靱化 行革推進計画 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 地域再生計画(企業版ふるさと納税)			
基本政策	地域で支え合う安全安心なまち	重点戦略		
主要施策	災害・危機に強いまちづくり	重点施策		
施策項目	消防・防災活動等の促進	重点項目		

2. 概要

名称	自主防災組織の立ち上げ推進事業
Plan 目的	自主防災組織の立ち上げを推進し、いち早く避難行動へとつなげる地域住民による組織形成を推進する
Plan 内容	自治会を中心に、組織化を促し防災意識の高揚を図る

3. 実績

Do 取組状況	自主防災組織立ち上げの際の手引きや規約、防災計画の参考資料等を整備した。
Check・Action 成果・課題等	1自治会で組織を立ち上げ。立ち上げ後の防災備蓄品や資材等を整備する財政支援の検討が課題である。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
5年後の自主防災組織数	3	8	4		D
5年後の自主防災組織を組織している団	3団体 2.9%	8団体 7.8%	3.9%		D
※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力					

5. コスト

経費	0	円	うち一般財源	0	円
			うち特定財源	0	円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	b	地域防災力の向上のため、地域住民による防災意識の高揚
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	a	「みえる」地域の支え合いが、地域防災力の向上となる
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	c	地域の防災への意識高揚を図る手法を考える必要がある
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	b	自主防災組織による地域の継続的な防災活動を支援する
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	A	自主防災組織数を増やし、地域活力と防災意識向上を図る必要がある

:***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	自主防災組織が少しずつ増えているが、災害への備えとして自主防災組織の役割は大きい。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	自主防災組織を増やせるよう周知の工夫を。

全体評価・コメント
 消防署、消防団が現場へ出ているときに、地域住民を守るために活動するのが自主防災組織。自治会長等地域のキーパーソンに率先して取り組んでもらえるような働きかけを。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	182	担当課名	町民生活課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	地域で支え合う安全安心なまち	重点戦略		
主要施策	災害・危機に強いまちづくり	重点施策		
施策項目	災害・危機に関する意識啓発	重点項目		

2. 概要

名称	WEBハザードマップ構築事業
Plan 目的	Web上で町ホームページから簡単にハザードマップを確認できることに加え、スマートフォンでも表示対応することにより、利便性向上や平常時からの地域住民の防災意識向上を図る。災害時には、危険箇所の位置情報や開設している避難所の情報を開示することにより地域住民が安全に避難行動ができるよう支援ツールとして活用する。
Plan 内容	災害発生時にハザード情報の迅速な提供や、開設している避難所の位置情報がWeb上で簡単に確認できるようWebハザードマップを整備する。 整備後は、LGWAN環境からWeb上へ専用端末を増やす事なく、担当職員の執務端末で情報公開の操作が可能となる。

3. 実績

Do 取組状況	令和5年度にデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、町ホームページから簡単にアクセスできるWEBハザードマップを整備した。令和6年2月より一般公開している。より多くの地域住民が閲覧し、防災意識を高めてもらえるよう周知していく。
Check・Action 成果・課題等	WEBハザードマップを多くの地域住民が閲覧し、有効活用してもらえるよう、アクセス数を把握しながら、広報などで周知していく必要がある。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
WEBハザードマップ訪問者の累計数	254	500			※一般公開からの期間が短いため評価なし
情報掲載数	3回	15回			〃
利用者評価数の割合	0.01%	0.70%			〃
防災行政無線メール配信サービスの登録割合	7.04%	9.00%			〃

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

5. コスト

経費	2,821,500 円	うち一般財源	10,750 円
		うち特定財源	2,810,750 円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い	a	町ホームページより簡単にWEBハザードマップを閲覧できる環境を整備することにより、地域住民の防災意識の向上が期待できる。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b: 効果がやや高い	a	災害時などWEBハザードマップから危険箇所や河川水位の情報など確認することができる。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	C: 相当程度の効果 d: 効果がやや低い	a	非常に安価な運用経費となっている。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e: 効果がない	a	住宅地図のGISをベースとしているため平常時の活用法と災害時の活用法がそれぞれ使えるため、必要に応じた活用が期待される。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	A	WEBハザードマップの利活用機会が増えることにより、地域住民の防災意識の高揚が図られる。

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・ランニングコストは年間18万円程度。 ・周知には工夫が必要ではないか。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input checked="" type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水実績等、最新情報への更新を都度行うことが重要。 ・小中学生にも使ってもらうことが効果的。

全体評価・コメント

高齢者はインターネットを使えない人が多いため、小中学校の授業で子どもたちに覚えてもらい、いざというときに高齢者の誘導をしてもらうのが効果的ではないか。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	217	担当課名	建設課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	若者の定住促進と賑わいのあるまち	重点戦略	若者が定住し賑わう戦略	
主要施策	若者の定住とふるさと回帰促進	重点施策	若者の活躍と定住促進	
施策項目	居住環境の整備促進	重点項目	居住環境の整備促進	

2. 概要

名称	町営住宅建築事業
Plan 目的	三種町町営住宅長寿命化計画に基づき、建替が必要と判定された千刈田団地及び大町団地建築・建替を実施する。
Plan 内容	三種町町営住宅長寿命化計画に沿って千刈田団地19戸、大町団地19戸の建築及び建替を実施する。

3. 実績

Do 取組状況	令和5年度末時点で千刈田団地に19戸、大町団地19戸の建替が完了した。
Check・Action 成果・課題等	R3～R5年度で建替が完了。 R6年度で千刈田団地の外構と道路の舗装を計画。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
低廉な家賃の住まいの提供	8	8		8	B
※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力					

5. コスト

経費	50,496,801 円	うち一般財源	4,458,801 円
		うち特定財源	46,038,000 円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い	a	琴丘・山本地区は町営住宅の入居要望が多く、入居率も90%以上であるため妥当である。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b: 効果がやや高い C: 相当程度の効果	c	建て替えした住宅の入居率は高く、長期間空家となることは少ないため、今後も入居の期待が持てる。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d: 効果がやや低い	d	公営住宅として必要な機能を満たすために大きなコスト削減は難しい。また社会情勢による資材コスト等の変動にも影響される。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e: 効果がない	a	大町は入居率100%で、千刈田は95%。千刈田は新築なので比較的早く100%に到達する見込み。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	B	目標戸数に到達したが、他の団地も建築から30年が経過しているものもあるため、R6年度で改定を計画している町営住宅長寿命化計画に併せて建替を含む町営住宅の長寿命化事業を検討していく。

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	町営住宅の整備により、三種町へ住む人を呼び込める要素がある
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	所得の面や単身世帯などで入居できない方向けの住宅の対応について前向きに検討してほしい

全体評価・コメント

現状は住宅の空きも出ているようなので、古い物件の建て替え・取り壊しのほか、町単独の住宅への切り替えなど、三種町の人口増加の要素となりうる住宅環境について、今後の計画にきちんと反映させてほしい。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	218	担当課名	建設課
計画種別	未来創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 DX計画			
基本政策	若者の定住促進と賑わいのあるまち	重点戦略	若者が定住し賑わう戦略	
主要施策	若者の定住とふるさと回帰促進	重点施策	若者の活躍と定住促進	
施策項目	居住環境の整備促進	重点項目	居住環境の整備促進	

2. 概要

名称	住宅リフォーム助成事業
Plan 目的	居住環境の向上と定住人口の定着及び地域経済対策の一環として、リフォーム工事経費の一部を助成することで町民の消費を促し、町内業者の振興を図るとともに、町民が将来にわたり、安全安心して暮らすことのできる地域社会を実現する。
Plan 内容	町民自らが所有し、居住している住宅(同一敷地内の車庫、物置も可)を町内業者(個人も可)がリフォームする場合、その工事費用の10%(上限15万円)を補助。工事費用が20万円以上で対象。

3. 実績

Do 取組状況	R5年度は156件のリフォーム工事に助成。助成総額16,012千円。 ※H21事業スタート。
Check・Action 成果・課題等	この事業による工事費の総額は毎年2億円を超えており、地域経済対策としての効果は非常に大きく、居住環境の向上に成果を上げている。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
安全安心な生活環境の整備	156件	150件		156件	A

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

5. コスト

経費	16,012,000	円	うち一般財源	12,000	円
			うち特定財源	16,000,000	円

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	225	担当課名	町民生活課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	安定した行財政運営のまち	重点戦略		
主要施策	行政運営の効率化と行政改革の推進	重点施策		
施策項目	効率的な行政運営	重点項目		

2. 概要

名称	書かない窓口事業
Plan 目的	各種手続きに伴う住民の申請書の手書きによる負担軽減、手続きに要する時間短縮。
Plan 内容	各種手続きに必要な情報をスマートフォン及びパソコン上で事前入力することで「必要な手続き、窓口、持参する物」を確認することができる。事前入力することで「QRコード」を発行し、来庁時に申請書や届出書を申請書を作成できる。

3. 実績

Do 取組状況	令和6年2月1日から稼働。
Check・Action 成果・課題等	窓口でマイナンバーカードや運転免許証から氏名、住所を自動で読み取ったり、必要事項を聞き取ったりして、来庁者に書かせることなく申請書を作成できる。事前申請システムは利用実績が少ないため、周知が必要。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
—	—	—			

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

5. コスト

経費	24,634,500	円	うち一般財源	12,317,250	円
			うち特定財源	12,317,250	円

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い	b	来庁者が申請書等に氏名、住所を記入する手間を省ける。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b: 効果がやや高い C: 相当程度の効果	d	異動支援と住基の連携や連携エラーの対処に職員が手入力するのに時間がかかる。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d: 効果がやや低い	c	費用対効果に見合っていない。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e: 効果がない	b	住民が書かないという点では負担軽減になっている。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	B	導入したばかりという事もあり、異動受付支援サービスのシステムを使いこなせる職員に限られている。エラー時に手入力できるよう窓口対応職員が機器に頼らなくてもできるように知識を習得する。

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	・DX化は確実なので、将来的に手間を省く必要がある。有効な活用が必須
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	・課題を改善し、よりよいシステムにしてほしい。

全体評価・コメント

書くのが嫌な方には、書かなくてもよいメリットはあるが、若い方々には待ち時間が増えている部分を改善し、よりよい使い方にしてほしい。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	230	担当課名	総務課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	安定した行財政運営のまち	重点戦略		
主要施策	行政運営の効率化と行政改革の推進	重点施策		
施策項目	効率的な行政運営	重点項目		

2. 概要

名称	受付業務体制の多様化対応
Plan 目的	住民の生活スタイルやニーズに対応し利便性を高めるべく、住民と行政との接点(フロントヤード)の改革を進めて、「書かせない」「待たせない」「迷わせない」「行かせない」窓口を目指す。
Plan 内容	デジタルツールを有効活用し、住民が申請や届出をする際の行政との接点の多様化・充実化を図る。

3. 実績

Do 取組状況	令和5年3月に住民票等のコンビニ交付がスタートしており、令和6年2月には「書かない窓口」システムを導入、住民の利便性向上を図っている。 また、令和6年度の電子申請システム導入に向け検討を重ねた。
Check・Action 成果・課題等	「書かない窓口」システム導入により、窓口での手続における省力化は図られているが、より効果的な活用に向けた検討を要する。令和6年度は電子申請システムの導入を予定しているが、デジタルに不慣れな層を対象にデジタルデバインド対策を講じて、利用しやすい環境を作る必要がある。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

5. コスト

経費	円	うち一般財源	円
		うち特定財源	円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a:効果が高い	b	窓口での受付体制に対する不満の声はさほど聞かれないが、いつでもどこからでも手続きできる体制へのニーズは今後高まっていくものと思われる。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b:効果がやや高い C:相当程度の効果	b	今後デジタルネイティブ世代の比率が高まっていくことから、将来性は高いと考える。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d:効果がやや低い	b	可能な限り、デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用している。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e:効果がない	b	目的の実現に向け、外部人材のアドバイス等により、多角的な視点で取り組むことができている。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A:このまま継続 B:改善して継続 C:廃止または中止	B	常に時代のニーズに柔軟に対応しながら、窓口のあるべき姿を模索していく必要がある。

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	コンビニ交付はどこでも利用できて便利になった。
今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	DXを推進し、さらに便利にしていくべき

全体評価・コメント
時代に合わせて必要なシステムを導入しながら窓口の効率化を進めてほしい。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	236	担当課名	町民生活課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	安定した行財政運営のまち	重点戦略		
主要施策	行政運営の効率化と行政改革の推進	重点施策		
施策項目	民間委託・情報通信技術の活用	重点項目		

2. 概要

名称	マイナンバーカード申請支援業務委託
Plan 目的	マイナンバーカードの普及促進
Plan 内容	三種町内商業施設等でマイナンバーカードの申請サポートをする。

3. 実績

Do 取組状況	令和5年4月から町内7郵便局でマイナンバーカードの申請支援を行った。令和5年7月から町内商業施設等での出張申請を行った。
Check・Action 成果・課題等	町内の商業施設及びコロナワクチンの接種会場でのマイナンバーカードの申請支援ができたが、介護施設では受け入れしてもらえない。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	
申請支援件数	0(R4)	300		212	C
※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力					

5. コスト

経費	13,494,299	円	うち一般財源	0	円
			うち特定財源	13,494,299	円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い	C	マイナンバーカードと保険証の一本化を前にカード作成の必要性を感じる方にとっての申請サポートへのニーズは高かったと思われる。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b: 効果がやや高い C: 相当程度の効果	C	マイナンバーカードの更新の時期には申請サポートが必要になるとと思われる。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d: 効果がやや低い	d	郵便局での申請については年間24件に留まっており、費用対効果は低い。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e: 効果がない	d	出張申請については、買い物ついで、ワクチン接種ついでに申請でき効果があったが、郵便局の申請支援については年度後半は申請者がいなかった。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	B	国の補助がある間は郵便局との委託契約は継続してもよいが、補助がなくなった時点で検討が必要。

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input checked="" type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	・マイナンバーカード取得者R6.4月末時点で12,219人、取得率81.35%、未申請者は施設入居者や制度に賛成できない方を想定。 ・郵便局での受付は利用者は少ないが、国をあげての事業なので進める必要がある。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input checked="" type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	・取得率を上げるのは容易ではないと思うが、率を上げる努力は必要

全体評価・コメント

100%は難しいと思うが、今後も必要なタイミングで手続きする人はいると思うので、率を上げる施策は進めた方がよい。(アウトソーシング(外部委託)による近隣市町との連携や土日の受付など)マイナンバーカードを持つことで住民にメリットがあるような町独自のサービス(ポイント等)も検討してはどうか。

8. 議会の評価・コメント

令和5年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート

1. 基本事項	事業番号	256	担当課名	総務課
計画種別	みらい創造プラン ・ 国土強靱化 ・ 行革推進計画 ・ 過疎地域持続的発展計画 男女共同参画推進計画 ・ 企業版ふるさと納税 ・ DX計画			
基本政策	安定した行財政運営のまち	重点戦略		
主要施策	健全で計画的な財政運営	重点施策		
施策項目	公共施設の効率的な管理運営	重点項目		

2. 概要

名称	指定管理者制度及び民間による施設管理の推進
Plan 目的	指定管理や民間委託を実施するため、民間活力を導入することでサービスの維持向上が図られる施設の洗い出しを行う。
Plan 内容	効率的な公共施設の管理運営を推進するため、民間による施設管理が行える施設については積極的に指定管理者制度を導入する。

3. 実績

Do 取組状況	現在検討中の施設は、三種町国民健康保険高齢者福祉支援センター「ひまわりセンター」となっている。
Check・Action 成果・課題等	施設管理を委託する場合、利用者が多く利用料収入が見込まれるなど受託する民間側にメリットがないと管理者が現れないと言った実情があるため、現在町が管理している施設の中でその条件を満たす施設を探すのは難しいと言える。現在候補となっている施設について検討するとともに、今後建設される施設についても、計画段階から民間事業者が参加する官民連携「PPP」などの手法を用い施設管理コスト削減を図っていかなければならない。

4. 重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値	実績値		評価
			途中経過	最終値	

※評価欄は、A:目標値以上、B:目標値と同等、C:目標値未満、D:進捗なし から選んで入力

5. コスト

経費	円	うち一般財源	円
		うち特定財源	円

6. 効果（担当課の評価）

	評価項目	評価区分	評価	評価の理由
一次評価（担当課）	妥当性 ・住民のニーズが高いか ・受益者負担は適当か ・町が関与すべき事業か ・目的・対象は妥当か	a: 効果が高い	C	民間による施設管理が行える施設については、積極的に指定管理者制度を導入していく。
	将来性 ・課題解決にとどまらず将来性があるか	b: 効果がやや高い C: 相当程度の効果	C	指定管理者制度を導入することにより質の高い公共サービスの提供が期待出来る場合には、積極的に導入する。
	効率性 ・コスト削減や効率的な手法が他にないか ・費用対効果はどうか	d: 効果がやや低い	C	指定管理者制度を導入する施設が増えることにより、維持管理費用の減少につながる。
	有効性 ・目的の実現に効果的か ・成果が期待できるか	e: 効果がない	d	現在町が管理している施設は、利用料収入が見込まれる等、受託する民間側にメリットのある施設が少ない。
	総合評価 ・継続すべきか ・改善が必要ではないか ・廃止すべきではないか	A: このまま継続 B: 改善して継続 C: 廃止または中止	B	今後建設される施設については、官民連携「PPP」などの手法を検討していくべき。

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

	判定区分	意見
事業効果・評価	<input type="checkbox"/> (A)非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> (B)やや効果的であった <input type="checkbox"/> (C)相当程度効果があった <input type="checkbox"/> (D)効果がほとんどなかった <input type="checkbox"/> (E)効果がなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・現状では利用者が少なくても、民間で活用したら利用者が増えるところもあるのではないか。 ・町の不動産をお金儲け以外の目的で民間が活用するメリットもあるのではないか。
今後の方針	<input type="checkbox"/> (A)さらに発展させるべき(拡大) <input type="checkbox"/> (B)効果があるので継続 <input checked="" type="checkbox"/> (C)内容の見直しが必要(改善) <input type="checkbox"/> (D)効果が見込めないため廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理は進んでいるため、今後の空き施設の民間活用について検討を進めた方がよい。 ・住民が生き生きと活動できるような施設の活かし方もあるのでは。

全体評価・コメント

町のせつかくの資産が眠らないように有効な活用についての検討も必要ではないか。お金以外の部分での活用をぜひ考えてほしい。

8. 議会の評価・コメント